

有事に備えて放水訓練も実施しています



AEDの使い方をグループに分かれて指導します



さまざまな  
事態に備えて  
日頃から訓練活動を  
続けています



大規模な避難誘導訓練も  
港区の自主防災に不可欠です



団員が互いの技術を披露する  
ポンプ操法大会

日頃の練習成果を披露するのは、港区消防団の関連行事の場。5曲ほど演奏します。一人で1曲を最初から最後まで吹き切るのは息が続かず至難の技ですが、大勢で吹くことで隊員たちは互いをカバーし合っています。

披露する場で最も盛大なのが、3年に一度行われる消防団連合観閲

ランペットは指で押すピストンでバルブを開閉して音の高低を操作しますが、ナチュラル・トランペットは開閉する装置がないため、マウスピースに当てた唇の形、送り込む息で音程を変えるタンギングと呼ばれる技法を用います。出せる音は「ド」「ミ」「ソ」「シレ」の4音のみですが、シンプルな構造であるため習得に時間を要するのです。

**さまざまな場で披露  
誇りを胸に臨む**

ラッパ隊の練習には、元名古屋市消防音楽隊の隊員が指導にあたります。国内においてラッパ隊の活動が盛んな長野県では消防団活動とは別に、専属で活動するラッパ隊がいます。年に一度、演奏技法を披露する「長野県消防ラッパ吹奏大会」を開催しているほどです。

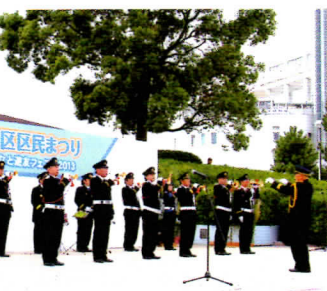
港区のラッパ隊も、長野県のラッパ隊が使用する教本をもとに練習しています。曲はアップテンポの「速足行進曲」や厳かな「団旗に対する敬礼」、さらに「ファンファーレ」、「ラッパ吹きの仲間たち」など、どこかで耳にしたことのある馴染み深い曲もあります。

式です。式典に参加する名古屋市長や副市長を迎える際に、ラッパ隊は整列して勇ましい音を鳴らす榮譽礼を行います。ほかにも、毎年8月上旬の「金山夏祭り」や秋に実施する「ポンプ操法大会」、「港区区民まつり」で演奏しています。

結成から10年以上が経過したラッパ隊。消防団行事でラッパ隊が吹いている姿を見て、「私もしたい!」と手を挙げる団員もいます。「ラッパ隊が出来たことで、式典そのものにも規律が生まれるのを感じています。実際、私たち隊員もラッパの音を聞けば背筋が伸び、襟を正されます。それに、私たちの演奏で来賓の方々を迎えられることは何よりも誇りなんです」と、坂野さんは思いを口にします。

### 安心・安全を守るため 防災活動に取り組む

隊員は、あくまで港区の団員であることが大前提。日頃から消防団の活動にも精力的に取り組んでいます。火災や自然災害発生時に消防署員とともに業務にあたるほか、要請があれば地域住民のもとに向き、自主



2013年の「港区区民まつり」でも、息が合ったラッパの音色を披露しました

日夜、地域住民の安全・安心を守るために活動を続ける消防団。その団員で結成されるラッパ隊の勇姿は「港区区民まつり」などで見られます。機会があれば足を運び、演奏を聴いてはいかがでしょうか。

防災訓練も実施。消火器を使つての初期消火活動、AEDを用いた心肺蘇生方法などを指導しています。

港区は津波避難対象地域の一つに指定されています。発生が懸念される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えるため、自主防災訓練実施時に津波に対する訓練も行っています。一次避難場所に地域住民が集まった後、改めて3階以上の建物へ団員が誘導して避難する訓練をしています。

団員でラッパ隊に興味を持つ人は、ぜひ一度練習の見学に来て欲しいですね



港区南陽消防団  
団長 ラッパ隊長  
坂野 恒 弘 さん

ラッパ隊に興味があり、区内在住または在勤の方は消防団に入団してください



名古屋市港区  
消防団連合会長  
丸井 利夫 さん